題材名 オペラの魅力

1、指導内容

学習指導要領 第2学年及び第3学年 [B鑑賞ア·エ] の指導事項から設定する。

2 , 教材

歌劇「アイーダ」より 第2幕 第2場 ヴェルデイ作曲

3,指導目標と評価規準

		観点 1	観点 2	観点4
		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
題		(1)声とオーケストラが生み出	(2)声とオーケストラが生	(3)声とオーケストラが生
材		す響きや演奏者の表現力の多様	み出す響きや演奏者の表現	み出す響きや演奏者の表現
Ø		さ、音楽と他の芸術とのかかわ	力の多様さ、音楽と他の芸	力の多様さ、音楽と他の芸
目		りに関心を持つ。。	術とのかかわりを感じ取る。	術とのかかわりを意識して
標				楽曲全体を味わって聴く。
題		声とオーケストラが生み出す響	声とオーケストラが生み出	声とオーケストラが生み出
材		きや演奏者の表現力の多様さ、	す響きや演奏者の表現力の	す響きや演奏者の表現力の
の		音楽と他の芸術とのかかわりに	多様さ、音楽と他の芸術と	多様さ、音楽と他の芸術と
評		関心を持って聴くことに意欲的	のかかわりを感じ取ってい	のかかわりを意識して楽曲
価		である。。	3 .	全体を味わって聴いている。
規				
準				
具	学	さまざまな歌唱形態とオ	さまざまな歌唱形態と	さまざまな歌唱形態と
体	習	ーケストが生み出す響きや	オーケストが生み出す響	オーケストラが生み出す
の	活	演奏者の表現力の多様さに	きや演奏者の表現の多様	響きや演奏者の表現の多
評	価	関心を持って聴いている。	さを感じ取っている。	様さを意識して楽曲全体
価	動			を聴いている。
規	に	音楽が文学、演劇、舞踊、	音楽が文学、演劇、舞	音楽が文学、演劇、舞
準	お	美術などのほかの芸術とど	踊、美術などの他の芸術	踊、美術などの他の芸術
	け	のように結びついているの	とどのように結びついて	とどのように結びついて
	る	かに関心を持っている。	いるのかを感じ取ってい	いるのかを理解して楽曲
			る 。	全体を聴いている。

4,指導と評価の計画(2時間)

時間	ねらい・学習活動	題材の評価規	評価方法等
		準との関連	
1	オペラの演奏形態や演奏者の表現	観点1	
	に関心を持ち、第2幕、第2場の勝		
	利の行進の場面を鑑賞する。		
	1,ラダメスの独唱場面の一部を鑑		
	賞し、オペラの形態の概要をつ		
	かむ。		
	2 ,「アイーダ」のストーリーの概略		
	を聴き、第2幕第2場の場面の		
	状況をつかむ。		<観察>
	3 , 勝利の行進の場面を鑑賞し、歌	観点2-	(発言内容や挙手による確
	唱形態や演奏者の表現の仕方に		認)
	ついて、気づいたことをお互い		(学習シートへの記入の状
	に発表し合う。		況)
	4 , オーケストラの演奏がその場面		<学習シート>
	に与えている効果について、感		(学習シートへの記入)
	じたことをお互いに発表し合う。		(発言内容の観察)
2	音楽とほかの芸術との関わりに関		<観察>
	心を持ち,第2幕第2場を鑑賞す		(発言内容や挙手による
	ప 。	観点1-	確認)
	1 , 勝利の行進の場面を演劇、舞踊、		(学習シートへの記入の
	美術とのかかわりを意識して鑑		状況)
	賞する。	観点2-	<学習シート>
	2、演劇、舞踊、美術それぞれとの		(学習シートへの記入)
	かかわりが感じ取れた場面をあ		(発言内容の観察)
	げ、音楽とかかわりについて、		
	気づいたことをお互いに発表し		
	合う。		
	3 , 発表をもとにして、ほかの芸術		
	とのかかわりが明らかになる場		
	面をLDで見ながら確認する。		

1			
3	声とオーケストラが生み出す響き		
	他の芸術とのかかわりを意識して		
	楽曲全体を鑑賞する。	観点4-	<観察>
	1 , 第 2 幕第 2 場全体を通して聴き	観点4-	(学習シートへの記入の
	学習シートに本題材で学んだこ		状況)
	とを振り返るとともに、学習内		
	容を生かした批評文を書く。		<学習シート>
			(学習シートへの記入)
	2 , 音楽とほかの芸術との関わりの		
	関連教材として,ミュージカル		
	「キャッツ」の一部分と歌舞伎「勧		
	進帳」の一部分を鑑賞する。		